



富樫 直敏

・大規模停電対策について ・酪農対策について

大規模停電について

質問 大規模停電に対応するため、基幹産業である酪農の被害を最小限に食い止めるため、搾乳農家に電源切替盤の設置に必要な費用の助成を検討できないか。

町長 非常時における、電力確保に向けた検討を進めていく上で、どのような方法が一番良いのか、農家の皆さんや農協と共に考えていきたい。

質問 IP告知端末機について、停電時でも、情報発信できる機種の導入の検討はしないのか。

町長 告知端末機の保守期限は、平成31年12月となっているので、平成31年度中の機器更新を検討している。

停電時でも、情報の発信ができる告知システムを導入したい。

酪農対策について

質問 酪農生産強化のために、初妊牛の購入に対して、20万円の助成がされているが、この制度を黒毛和牛の初妊牛にも適用できないのか。

町長 後継者不足等、これから地域農業の生産力の低下を防ぎ、施設、農地等の有効利用を図っていくため、経営転換に取り組んでいく必要がある。

今後、肉用牛の生産をどのように進めていくのか、農協と検討して、町へ支援要望を提案してほしい。



無量谷 隆

・名林公園の管理、利活用について ・北海道胆振東部地震の教訓について

名林公園の管理、利活用について

質問 町の中心部に貴重な原始林があるが、適正な管理、保存が必要である。倒木を防ぐには、どのような対策を考えているか。そして、学習的観点からも木に名札を付けはどうか。

また、道立林業試験場の樹木診断の結果はどうだったか。

町長 樹木が末永く存続できるよう、検討を進める。木の枝の管理、根の張りを保つために下草、落ち葉の堆肥化は専門家の指導を仰ぎながら検討を進める。

名札は代表的な樹木に付け、伐採する木の根元の高さは検討する。

樹木診断の調査報告については、のちほど報告する。

北海道胆振東部地震に教訓について

質問 本町においても、酪農家を中心として、電力供給に大きな影響が出た。そのため、自家発電機の購入を助成してはどうか。

本町の停電によって、光通信でテレビ情報を見ることができなかったが何故か。

町長 今回の長時間停電により、発電機を所有している農家が、非常に少ないことが判明した。今後、農家や農協の皆さんと協議を進めながら検討していく。

光ケーブルによるテレビ放送については、町内の難視聴世帯へ送信しているセクターへ給電されなくなったため、テレビ放送が再送信できなくなった。バックアップ電源を増強できるか調査する。



悟 見

・北海道胆振東部地震について ・風車について

胆振東部地震について

質問 9月6日、7日の牛乳は、受け入れ体制が整わず、破棄せざるを得なかった。町としてはどう考えているか。

町長 全道各地の酪農家と

同様に、牛乳は廃棄することになった。今後の対策は、農協と協議を進めながら、検討したい。

質問 乳房炎などの疾病が発生しているが、どういう対策が考えられるか。

